

三綱領 【自主自律】進取の気象を涵養する 【質実剛健】好学の気風を養成する 【師弟同行】敬愛の美風を育成する



同窓会だより

第22号

平成29年8月



発行/熊本県立鹿本高等学校同窓会 〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通3丁目5-1 TEL.0968-44-5101 FAX.0968-44-6899
ホームページ/http://sakura1.higo.ed.jp/sh/kamotosh/ Eメール/kamoto-h@pref.kumamoto.lg.jp 印刷/株式会社トライ



創立百二十年・統合五十年を迎えるに当たって

鹿本高校同窓会会長 中嶋 憲正

(昭和四十四年鹿本高校卒 山鹿市長)

山鹿灯籠の祭囃子が待ち遠しい今日この頃、会員の皆様にはますますご健勝のことと拝察いたします。

平素は、本会の活動に対し格別のご理解とご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

初めに、昨年の熊本地震により被害を受けられた同窓生の皆様からお見舞いを申し上げますとともに、地震の影響により、本会の主要な活動の一つであります「同窓会だより」が発行できなかつたことを心からお詫び申し上げます。

さて、今年は鹿本高校創立百二十年・統合五十年の記念すべき年に当たります。

「伝統のたすきを繋ぎ、ここに咲け」をスローガンに、学校では、今年四月に着任された瀬口校長先生を先頭に、十月二十七日の記念式典に向けて着々と準備が進められております。

同窓会としまして、記念式典の成功に向けて、役員会を中心に広く同窓生に働きかけ、側面からしっかりと支援して行く所存でございます。鹿本高校の輝かしい歴史と伝統を改めて振り返り、また、現在各界でご活躍の諸先生・先輩方に接するとき、本校の卒業生であることの誇りと身の引き締まる思いを新たにするところであります。

また、折に触れ在校生の皆さんと接するとき、本校の綱領にある「自主自律、質実剛健、師弟同行」を胸に、志高く学業や部活動に真摯に取り組む姿とさわやかな生活態度は、誠に頼もしく、将来を嘱望される立派な人材が育っていることに大きな喜びを感じます。

一方で、少子化が急速に進む中、県下の公立高校の再編統合、学級数削減、定員割れの現状を目の当たりにするとき、その将来に予断を許さぬものを感じております。

このような時代であるからこそ、同窓会がその本領を発揮すべきときではないでしょうか。

私も同窓会は「母校鹿本高校をこよなく愛し、その同窓生であることに大きな誇りと喜びを感じながら、未来に向かって大きく羽ばたかんとする在校生を、しっかりと支援していくこと」にあります。

しかしながら、現在の同窓会本部の運営は、主に毎年卒業する新規会員の入会費で賄われていることから、資金不足が深刻な問題となっており、思うような活動ができないのも事実であります。

本来、同窓会は、母校に感謝し、その歴史と伝統を守り後世に伝えたいと願う会員の会費・浄財で運営されるべきものであり、一人ひとりの熱い思いが、鹿本高校の更なる発展と在校生の飛躍の原動力となるものであります。

今後の同窓会のあり方についても、みんなで知恵を出しながら、真剣に考える時期に来ているのではないのでしょうか。

私たちには、先輩方の血のにじむような努力で出来上がった立派な「同窓会館」があります。

ここを拠点とし、ボランティア的事務局体制の整備等により、同窓会の活動気運を高めていくことが必要ではなからうか



飛躍

と思っております。創立百二十年・統合五十年の節目は、同窓会にとっても新たな第一歩を踏み出す契機であります。

会員が一致団結して会を盛り上げ、まずは記念式典の成功に向けて全精力を傾けて頑張りましょう！

最後になりましたが、今年三月に転勤されました那須校長先生には、二年間にわたり鹿本高校の発展充実に誠心誠意ご努力頂くとともに、記念式典開催に情熱を傾けてご奮闘いただきました。

これまでの多大なるご貢献に敬意を表し、衷心より感謝申し上げます。

平成二十九年度 鹿本高等学校同窓会役員名簿

会長	中嶋 憲正	鹿本
副会長	中村幸史郎	山鹿
副会長	隈部 宗英	鹿本
副会長	島田 裕子	鹿本
副会長	服部 香代	鹿本
事務局長	宮川 政士	鹿本
監事	小松 大祐	鹿本
監事	大木 勤也	鹿本
顧問	井上 尊文	鹿本
顧問	瀬口 和弘	旧鹿本(校長)
顧問		

各地区理事

山鹿支部長	杉谷 博康	鹿本
菊池支部長	泉田栄一朗	鹿本
鹿北支部長	立山 憲介	鹿本
菊鹿支部長	丸山 信敏	鹿本
鹿本支部長	林 昌也	鹿本
鹿央支部長	佐伯 邦彦	鹿本
植木支部長	緒方由紀夫	鹿本
七城支部長	坂井 博明	鹿本
三加支部長	山下 仁	鹿本
菊水支部長	吉田 収	鹿本

各地同窓会

●東京鹿本高校同窓会	会長 大林 廣光	山鹿
	副会長 宮部 健吉	旧鹿本
	事務局長 眞崎 伸也	鹿本
●関西不動産	会長 橋本 邦彦	鹿本
	事務局長 欽田 保智	鹿本
●福岡不動産	会長 月足 博	山鹿
	事務局長 永田 政信	旧鹿本
●熊本不動産	会長 東 大弼	旧鹿本
	副会長 星子 三郎	旧鹿本
	副会長 中原 憲一	鹿本
	事務局長 河村 久幸	鹿本

このたびの定期異動で県立大津高校から本校に着任しました瀬口和弘と申します。同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。多くの先輩諸氏により積み上げられてこられた、多方面に渡る輝かしい実績を改めて知るにつけ、それを今後に繋いでゆく、あるいはそれを更に超えてゆかねばならない責任の重さを、身に染みて感じております。また、同窓会の皆様の願いや期待を、今一度、心深くに留める必要があると考えております。



就任のごあいさつ 校長 瀬口和弘

をもつて粘り強く「継続」することです。明確な目標を持ち、目標達成のための努力を積み重ねれば、必ず守結果が出て来ます。哲学者の和辻哲郎は「成長を欲するものは、まず根を確かにおろさなくてはならない。上に伸びる事をのみを欲するな。まず下に食い入ることを努めよ。」という言葉を残されています。本校の綱領は、この根に通じます。生徒諸君には、根を伸ばし、根を大きく張り、

様々のよきものを自らの栄養として貪欲に吸い上げ、常に目標を持ち続け自らを大樹となしてほしいと思います。

ところで、皆様もご存じのとおり、少子化の影響は県北学区でも顕著であり、本校に入学を希望する中学生をいかに確保していくかが、現在の我々に課されている大きな課題であります。教職員が数多くの機会を通して、中学校を訪問し、本校の情報提供を行うなど生徒の確保に向けて取り組んでおります。

本校の使命は、120有余年の長い伝統の中で、綱領「自主自律、質実剛健、師弟同行」の校風を連綿と受け継ぎながら、地域の進学校拠点校として「生徒一人ひとりの潜在能力を引き出し、進路希望を実現させること」であり、私たち教職員は、この重要な使命を心にとめ、「自らに向き合い、自ら考え、実践することが出来る生徒の育成」を教育実践スローガンと定め、生徒には「夢への挑戦、品格の実現」を合い言葉に教職員生徒が一丸となつて、生徒の目標達成に向けて取り組んでいるところです。

そのためには、すべての分野において目標に向かってチャレンジさせることが重要です。その際に、次の3つのPが最も大事だと思えます。Passion(情熱)、Practice(実行)、Patience(あきらめない)です。こうしたい、こうなりたいという「思い」をもち、それを実現するための「行動」を起こすこと、そして信念

この結果に満足することなく生徒達はよく取り組んでくれています。今後も4万人を超える同窓生の皆様に支えていただきながら、地域の進学校拠点校として邁進していく所存であり、同窓会の皆様方には、様々な面のご指導・ご鞭撻を、どうぞ、よろしくお願いいたします。最後にになりましたが、同窓会の皆様のご活躍とご健勝を祈念し、ご挨拶といたします。

理想はより深くより広く

元熊本大学教授

中村 青史

(昭和27年山鹿高校卒)

同窓会
講演会

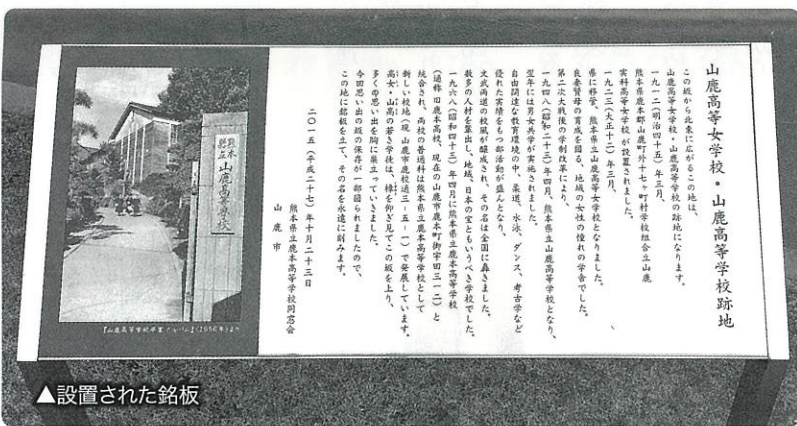


世に突出した芸術家やスポーツ選手は、3歳とか5歳とか幼児期からその道の訓練に励んできた話を聞きます。それはそれでいいでしょう。普通の人は、そんな早くから自分の進路を決めてはいないと思います。私は、近代日本文学の研究者というこ

た。大学では専門分野に絞られるので、視野も狭くなるし、型にはめられるのが苦痛でもあり、文芸作品の創作に手を染めたりもしました。老境に入つてやっと書き上げた博士論文のタイトルは「民友社の文学」、これは明治・大正・昭和に及ぶ実に広範囲な近代日本文学研究でした。しかし今思うに、何とも底の浅いものになってしまったと、後悔しています。作家や作品を一つ一つ深く掘り下げねば本物にならないと気が付きましたが、すでに与えられた命はそう長くはありません。研究に限らず、自分が取り組んだ二生の仕事は、その専門分野を誰にも負けないだけ深く掘り下げることが大切ですが、同時に、より幅広く展開することも大事です。より深くより広くするためには、より大きなエネルギーを必要とします。理想は、無理を承知で取り組むことです。

学舎の歴史銘板に

市民交流センター前に記念銘板設置



▲設置された銘板

山鹿市役所敷地(市民交流センター横の通路)に平成27年10月23日、山鹿高等学校と山鹿高校があつたことを示す銘板が完成。中嶋憲正山鹿市長らの手で除幕式が行われ、卒業生ら30人が見届けました。

銘板には2つの学校の歴史を詳しく紹介。1912年設立の山鹿実科高等女学校が23年に県立山鹿高等女学校に改称し、戦後の学制改革を経て49年に男女共学となつた山鹿高を、「文武両道で全国に名が轟く地域の宝というべき学校だった」と当時の写真を織り交ぜながら紹介しています。



▲平成27年10月23日に開かれた除幕式

鹿本高校に関わる資料提供について(お願い)

本年(2017年)鹿本高校は、創立120周年(記念式典は10月27日に予定)を迎えます。そこで、学校の歴史を物語る資料をきちんと保存し、先輩方の顕彰を図り、現在学んでいる生徒たちに伝統を確かなかたちで伝えていきたいと考えております。

つきましては、以下の資料等について、連絡していただければ幸いです。(複写での活用も可能ですのでどうかお知らせください。)

県立鹿本中・山鹿高等女学校・旧鹿本高校・山鹿高校・統合後の鹿本高校に関わる資料

(例)

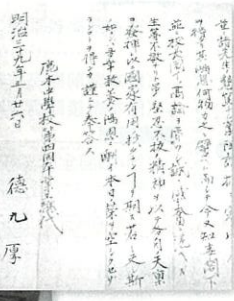
- 『学校経営案』●各校務分掌綴り●校務記録
- 部活動記録
- 写真●新聞(『山鹿高校新聞』他)●絵葉書
- 校友会誌(『不動』『会誌』『樟蔭』『あゆ美』『真澄』他)
- 卒業アルバム●卒業証書●送辞原稿●答辞原稿●賞状
- 教科書●木銃●制服●通学に使用した下駄●靴
- 当時の日記●作文●作品
- 文化祭●体育祭パンフレット
- 卒業後、出版された著作●同窓会についての新聞記事
- 在校生の新聞記事

〈これまで提供された資料〉

県立鹿本中学校卒業式 答辞(控)明治39年3月



山鹿高等女学校 職員使用の担当棚



連絡先 鹿本高校同窓会事務局 TEL0968(44)5101

平成27~28年度事業報告

平成27(2015)年

- 7月22日(水) 同窓会役員・支部長会(山鹿ニューグランドホテル)
- 8月 5日(水) 『同窓会だより』第21号発行
- 8月 7日(金) 熊本不動産総会・懇親会(メルパルク熊本)
- 8月 8日(土) 鹿本高等学校同窓会総会・懇親会(山鹿ニューグランドホテル)
- 10月 8日(木) 熊本県庁不動産総会・懇談(ホテル熊本テルサ)
- 10月23日(金) 山鹿高等女学校・山鹿高校跡地銘板除幕式
- 10月24日(土) 福岡不動産総会・懇親会(平和楼)
- 11月21日(土) 関西不動産総会・懇親会(大阪リバーサイドホテル)
- 12月 1日(火) 同窓会講演会 中村青史氏(元熊本大学教育学部教授、元熊本大学附属中学校校長、1952年山鹿高校卒) 「私の歩んできた道~時計の振り子のように~」

平成28(2016)年

- 1月15日(金) 同窓会役員会・支部長会(亀寿し)
- 2月 8日(月) 同窓会役員会(鹿本高校)
- 2月29日(月) 同窓会賞授与、同窓会入会式(鹿本高校)
- 4月12日(火) 12期生との打ち合わせ会(鹿本高校)
- 5月19日(木) 12期生との打ち合わせ会(鹿本高校)
- 7月12日(火) 12期生との打ち合わせ会(鹿本高校)
- 8月 1日(月) 同窓会役員・支部長会(亀寿し)
- 8月 5日(金) 12期生との打ち合わせ会(鹿本高校)
- 8月 5日(金) 熊本不動産総会(メルパルク熊本)
- 8月11日(木) 鹿本高等学校同窓会総会・懇親会(山鹿ニューグランドホテル)
- 9月24日(土) 第6回鹿本博物館(考古学部と共催)
- 10月29日(土) 福岡不動産総会・懇親会(平和楼)
- 11月19日(土) 関西不動産総会・懇親会(京都タワーホテル)
- 12月 1日(木) 熊本県庁不動産総会・懇親会(ホテル熊本テルサ)
- 12月 2日(金) 同窓会講演会 古江研也氏(熊本高等専門学校教授、熊日文学賞選考委員、1973年鹿本高校卒) 「生死の関頭に立つ」

平成29(2017)年

- 2月 7日(火) 同窓会役員会・支部長会(亀寿し)
- 2月28日(火) 同窓会賞授与、同窓会入会式



「生死の関頭に立って生きる」ということ

熊本高等専門学校教授

古江 研也

(昭和48年鹿本高校卒)

同窓会 窓演 講

昨年12月2日、鹿本高校同窓会講演会において「生死の関頭に立つ」という演題で話をさせていただきました。

「関頭」とは、2つの世界を隔てる境目、分かれ目のことをいいます。

青春時代は、旺盛な生命力に支えられ万能感に満ちた時期ですが、一瞬一瞬は、現在と未来の境目の連続であり、若いも若きも関係なく生死の縁(ふち)を頼るべき杖も持たずに歩いていくようなものだということを理解して欲しくて講演をお引き受けした次第です。

「こころ」(夏目漱石)、「舞姫」(森鷗外)という高校の定番教材に共通している点が「暗さ」と「弱さ」であり、富国強兵の時代に即応する果敢な強い男性ではなく、優柔不断で孤立した人間を描いていることの意味を考えてもらいました。その上で、現代もまた、1つの指向性のみが求められているのではないかと問

いかれました。「明るく元気よく」「友だちを作れ」。その結果、同調圧力と異質な存在への排除意識が高まり、現代の生きにくさが生じているのではないのでしょうか。

人と違うことをすることをためらう自己規制。例えば、「独りで弁当を食べる姿を見られたくない」「ラインから離脱できないでいる」といったことで悩んでいませんか? そうであれば、周りの目を気にする意識を一度捨ててみる必要があります。

不要なものを捨て続けた後に見えてくるものが死の問題です。これは捨てようと思わなくても生ある限り常にその可能性を抱えています。「死はかたえてうしろより迫り」(徒然草)。

生きることを願うならそれと同じだけ死について考えることが大切です。周りの目よりもつと意識すべきこと、それは「生死の関頭に立って生きる」という実存です。

夢実現に挑戦する生徒たちを支えよう!

関西不動産事務局長

鎌田 保智

(昭和57年鹿本高校卒)



まずは創立120周年を迎え皆様とともにその栄を喜びたいと思います。今日までの卒業生は4万人を超え、長き歴史に加え伝統の重みを感じています。同窓会も中嶋会長をはじめ歴代幹事の皆様のおかげで母校の歴史とともに脈々と続いており日頃の運営に感謝致します。我が関西不動産も昭和55年に立ち上がり関西熊本県人会の中でも最古の歴史を持ち、橋本会長(昭和46年卒)を中心に更なる活性化に向け若手会員の呼び込みを注いでおり、毎年の懇親会では母校や故郷に思いを寄せ校歌を歌い語りながら旧交を温めています。ふるさと山鹿に目を移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行する中でも現役生たちは競技かるたや陸上競技をはじめ各クラブを移すと人口減少や少子高齢化の傾向が進行するでも

平成27~28年度 部活動報告

平成27年度部活動成績 (運動部)

陸上競技部

〈熊本県高等学校総合体育大会〉KKWING
 男子100m/1位 有働 雄(10秒74)
 男子200m/2位 有働 雄(21秒97)
 男子4×100mリレー/3位
 (森本・有働・山口・坂口/42秒10)
 〈全国高等学校総合体育大会〉和歌山
 男子100m/有働 雄(予選敗退)
 200m/有働 雄(予選敗退)

柔道部

〈熊本県高等学校総合体育大会〉
 【男子個人】
 60kg級/優勝 森 和輝(九州大会・全国大会出場)
 81kg級/準優勝 野田 健太郎(九州大会出場)
 81kg級/3位 草野 巧己
 〈全日本ジュニア柔道体重別選手権大会・熊本県予選会〉
 【男子個人】
 55kg級/優勝 森 和輝(九州大会出場)
 60kg級/3位 片山 伸
 81kg級/3位 草野 巧己
 〈全九州高等学校体育大会〉
 【男子個人】
 60kg級/ベスト8 森 和輝
 81kg級/出場 野田 健太郎
 〈全国高等学校総合体育大会〉奈良県天理市
 【男子個人】60kg級/出場 森 和輝
 〈九州ジュニア体重別大会〉
 【男子個人】55kg級/ベスト8 森 和輝
 〈県下高校柔道一年生大会〉
 【男子個人】66kg級/2位 平松 海
 〈第65回県下高校柔道大会兼九州高校新人柔道大会県予選会〉
 【男子個人】
 60kg級/3位 平 晋次
 60kg級/3位 堀田 拓
 66kg級/3位 平松 海
 〈第38回全国高等学校柔道選手権大会熊本県大会〉
 【男子個人】60kg級/準優勝 平 晋次

剣道部

〈熊本県高等学校総合体育大会〉
 【男子個人】第3位/野崎裕稔(3年)・荻原健太(3年)
 〈全九州高等学校剣道大会〉
 【男子個人】出場/野崎裕稔(3年)・ベスト8/ 荻原健太(3年)
 〈県下新人高校剣道大会兼九州高等学校選抜剣道大会県予選〉
 【男子個人】第4位/佐藤友社(2年)
 【男子個人】ベスト8/原田真宏(2年)
 〈県下大会全国選抜大会県予選〉
 【演技の部】優勝/鹿本高校A
 〈九州高等学校選抜剣道大会〉
 【男子個人】出場/原田真宏(2年)
 ベスト8・優秀選手/佐藤友社(2年)

弓道部

〈県下高校一年生大会〉【女子個人】5位/稲葉有紀

水泳部

〈九州高校新人大会〉:沖縄県那覇市
 50m平泳ぎ/出場 稲葉圭祐(2年)
 200m自由形/出場 倉原瑞生(1年)

ダンス部

〈第28回全日本高校・大学ダンスフェスティバル コンクール部門〉出場
 〈第66回熊本県高等学校ダンス発表会〉優秀賞

平成27年度部活動成績 (文化部)

写真部

〈熊本県高校写真春期コンテスト〉入選/3年 劉 睿楠
 〈熊本県前期高校写真コンテスト〉入選/1年 津田 夏実
 〈熊本県後期高校写真コンテスト〉入選/2年 重本 美紀

書道部

〈岐阜女子大学全国書道展〉
 大学賞/3年 吉村 花

特賞/2年 古澤 結香

〈第6回 熊本県新春学生書道展〉

準大賞/2年 古澤 結香

家庭部

〈熊本県家庭クラブ研究発表大会〉
 優秀賞/2年 本田 瞳「母に捧げる別腹対策レシピ」

考古学部

展示 『鹿高博物館in古墳館~考古ボーイ・ガールたちの今・昔~』
 主催 熊本県立装飾古墳館
 展示 『第5回鹿高博物館』「アゲンビル島の戦いと熊本の人々」

ギター・マンドリン部

〈第40回熊本県高等学校器楽コンクール〉(益城町文化会館)
 合奏の部/金賞 曲目「ルーマニア民族舞曲」
 独奏の部/(マンドリン)金賞
 曲目「タランテラ」演奏者 吉良紀香
 〈第40回全国高等学校総合文化祭熊本県代表選考会〉(熊本県立劇場)
 器楽部門/金賞(器楽部門熊本県代表推薦)
 曲目「ルーマニア民族舞曲」

合唱部

〈熊本県合唱コンクール〉(熊本県立劇場) 金賞
 演奏曲「Sanctissima Maria」(Francisco Guerrero 作曲)
 「Salve Regina」(Kocsar Miclos 作曲)
 「Laudate doninum」(Dubra作曲)

百人一首競技かるた部

〈総文祭県代表第2回選考会〉
 優勝/古家 智華(2年)・準優勝/野口 菜々(2年)
 〈第27回熊本県高校総文祭〉源平戦の部/優勝 鹿本高校Cチーム
 〈第37回全国高校選手権大会熊本県代表選考会〉優勝
 〈第37回全国高等学校小倉百人一首かるた競技選手権大会〉
 団体戦/出場
 個人戦/第3位入賞 古家 智華(2年)・松尾美貴子(1年)
 第4位入賞 野口 菜々(2年)
 〈第39回全国高等学校総合文化祭〉(滋賀大会) 出場
 〈第5回九州地区高等学校小倉百人一首かるた競技大会熊本県予選〉
 優勝/鹿本高校
 〈第25回熊本県高等学校小倉百人一首個人戦大会兼第40回全国高校総文祭広島大会熊本県代表選手第一次選考会〉
 優勝/野口菜々(2年)・3位/木庭しおり(1年)

平成28年度部活動成績 (運動部)

陸上競技部

〈第69回全国高等学校陸上競技対校選手権大会熊本県予選大会〉
 八代県営陸上競技場
 男子/400m 3位 山口 卓哉(49秒29)
 110mハードル 3位 堤 健太郎(15秒49)
 〈秩父宮賜杯第69回全国高等学校対校陸上競技選手権大会九州地区予選大会〉宮崎
 男子/400m 5位 山口 卓哉(49秒03)
 〈秩父宮賜杯第68回全国高等学校対校陸上競技選手権大会〉岡山
 男子/400m 山口 卓哉(予選敗退)
 〈熊本県高等学校新人陸上競技大会〉
 男子/110mハードル 1位 堤 健太郎(15秒57)
 400m 2位 吉野 晃太(50秒20)
 800m 3位 吉野 晃太(2分01秒25)
 4×400mリレー
 3位(吉富・吉野・渡辺・村田)/3分23秒03
 〈全九州高等学校新人陸上競技大会〉
 男子/110mハードル 8位 堤 健太郎(15秒24)
 〈熊本県高等学校総合体育大会〉KKWING
 男子100m/1位 有働 雄(10秒74)
 男子200m/2位 有働 雄(21秒97)
 男子4×100mリレー
 3位(森本・有働・山口・坂口/42秒10)
 〈全国高等学校総合体育大会〉和歌山
 男子/100m 有働 雄(予選敗退)
 200m 有働 雄(予選敗退)

柔道部

〈熊本県高等学校総合体育大会柔道競技大会〉
 男子団体/3位

男子個人/60kg級 3位 堀田 拓(2年)
 66kg級 3位 平松 海(2年)
 〈全日本ジュニア柔道体重別選手権大会・熊本県予選会〉
 男子個人/55kg級 準優勝 岡本海輝(1年)
 60kg級 3位 堀田 拓(2年)
 〈第48回九州ジュニア柔道体重別選手権大会〉福岡武道館
 男子個人/55kg級 出場 岡本海輝(1年)
 〈第66回県下高校柔道大会兼九州高校新人柔道大会県予選会〉
 男子個人/60kg級 優勝 堀田 拓(2年)
 66kg級 3位 富永雄大(1年)
 〈第20回九州高等学校新人柔道大会〉福岡市九電記念体育館
 男子団体出場
 男子個人/60kg級 ベスト8 堀田 拓(2年)
 〈第39回全国高等学校柔道選手権大会熊本県大会〉
 男子個人/66kg級 準優勝 平松 海(2年)
 81kg級 準優勝 山室 航(2年)(1年)

剣道部

〈熊本県高等学校総合体育大会〉
 男子団体/3位
 男子個人/第3位 佐藤友社(3年)(全九州大会出場)
 〈全九州高等学校剣道大会〉
 男子個人/第3位 佐藤友社(3年) 3位入賞
 出場 原田真宏(3年)
 〈国民体育大会九州ブロック予選大会〉
 剣道競技少年男子/優勝 佐藤友社(3年)
 〈国民体育大会〉:岩手県
 剣道競技少年男子/準優勝 佐藤友社(3年)

水泳部

〈全九州高等学校体育大会水泳競技大会〉……1人出場

ダンス部

〈第67回熊本県高等学校ダンス発表会〉……優秀賞

平成28年度部活動成績 (文化部)

写真部

〈熊本県高校写真コンテスト〉(春季)
 ……入選/2年 津田 夏実
 〈熊本県前期高校写真コンテスト〉入選/1年 田中 朋花
 〈熊本県後期高校写真コンテスト〉入選/1年 牛島 希

書道部

〈第45回全国高校書道展〉…特選/2年4組 高木 美那
 〈第18回日中友好熊本県書道展〉…特選/2年4組 坂本 典子
 〈平成28年度 第23回熊本県高等学校 書道紙上演〉
 ……大賞/2年4組 坂本 典子、2年4組 高木 美那

家庭部

〈熊本県家庭クラブ研究発表大会〉
 優秀賞/2年 本田 瞳「母に捧げる別腹対策レシピ」

考古学部

展示 『第6回鹿高博物館』鹿本高校同窓会と共催
 表彰/熊本県文化財功労者表彰受賞

ギター・マンドリン部

〈第41回熊本県高等学校器楽コンクール〉金賞
 〈第40回全国高等学校総合文化祭2016ひろしま総文〉…参加

百人一首競技かるた部

〈第38回全国高校選手権大会熊本県代表選考会〉…優勝
 〈第38回全国高等学校小倉百人一首かるた競技選手権大会〉
 団体戦/ベスト8
 個人戦/第3位入賞 森 卓命(1年)
 第4位入賞 野口 菜々(3年)・渡辺 麻奈美
 〈第40回全国高等学校総合文化祭(広島大会)〉……参加
 〈第6回九州地区高等学校小倉百人一首かるた競技大会熊本県予選〉
 ……3位
 〈第6回九州地区高等学校小倉百人一首かるた競技大会〉
 ……ベスト8
 〈第38回熊本県高等学校小倉百人一首かるた競技大会〉
 (源平戦)優秀賞/Aチーム、Cチーム

平成二十七年 鹿本高等学校

「同窓会賞」受賞者

「学術優秀賞」

吉里 文さん

並々ならぬ学習意欲を持ち、全科目にわたって努力を重ね、3年間を通して常に首席という極めて優秀な成績を取った。

物事に柔軟に対応する力を備え、自己を磨く努力を惜しまない、知的好奇心と向上心にあふれている。ボランティア活動にも参加し視野を広げた。

生徒会副会長を務め、生徒会の中心として会の運営に取り組んだ。華道部部長も務め、部員と協力して、日本伝統文化も学んだ。3年間皆勤で登校した。

●平成25年度熊本県立モリタナ大学高校生派遣事業参加
 ●第10回熊本県高等学校英語コンテスト大会出場
 ●第20回熊本県高等学校書道紙上演優秀作

「体育栄誉賞」

有働 雄さん

落ち着きのある生活態度で、常に高い目標を掲げ、その達成のために努力を惜しまない。

陸上競技部に所属し、副主将を務めた。熱意を持って練習に取り組み、自己記録を大幅に縮め、熊本県高校総体100mで優勝し、全国大会に出場した。学習面でも自分の課題を見つけ、その克服に力を注ぎ、好成績を取った。

●平成26年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会4×400mリレー出場
 ●平成27年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会100m出場
 ●平成27年度九州地区予選大会陸上競技大会100m6位、200m2位

●平成27年度熊本県総合体育大会陸上競技大会100m1位、200m2位、4×100mリレー3位

「文化栄誉賞」

吉村 花さん

高校生としての清潔感が感じられ、落ち着きのある生活態度である。

芯が強く何事にも真摯に取り組み、ため信頼も厚い。書道部の活動では部長として部活動の活性化に貢献するとともに、大変優秀な成績を取った。

また、生徒会活動にも熱心に取り組み充実した高校生活を送った。3年間無欠席で登校した。

●第20回熊本県高等学校書道紙上演準大賞
 ●第8回尚絅大学高校生書道展入選
 ●第21回熊本県高等学校書道紙上演大賞
 ●第44回全国高校書道展特選
 ●第17回日中友好熊本県書道展日中友好協会会長賞
 ●第14回岐阜女子大学主催書道展大学賞
 ●第16回国際美術展書道の部佳作

友情の団扇 創立120年への追い風を起こせ

平成27年度鹿本高校同窓会担当学年実行委員長 阪梨 健

(11期生 昭和54年鹿本高校卒)

2015年8月8日、夕暮れ迫る清流 菊池川のほとりに立つ山鹿ニューグランドホテルに、続々と同窓生が集まる。その数214人。同窓会始まって以来、最多の数である。ロビーでは、揃いのポロシャツに身を包んだ実行委員が、少し緊張した面持ちで皆様をお迎える。

この日から遡ること約8ヶ月前、第11期生の有志28人で実行委員会を立ち上げ、今日のために準備をして来た。そこで我々が掲げた目標は、参加者200人を集め、創立120年の節目に向けて、同窓会の結束力と士気を高めることである。

午後5時半、いよいよ懇親会の開宴。会場では、母校の歴史と伝統の重みを感じさせる懐かしい写真のスライドショーを上映。おもてなしは、山鹿灯籠踊り保存会OG(本校卒業生)の皆さんによる灯籠踊りの披露。さすが、山鹿市が誇る優雅な踊りは、見る者の心を魅了する。

さらに、嬉しいサプライズは、開会からご出席頂いた蒲島知事が、各テーブルの同窓生と一緒に記念写真にに応じて頂いたことである。会場内は、終始笑い声が絶えず、グラスを傾けながら母校の思い出話に花が咲き、各々が高校時代にタイムスリップしていく...

宴も酣、恒例の「友情の団扇」伝達式。第12期生に来年の同窓会の成功を託す。そして最後は、世代を超えて肩を組み、声高らかに校歌を斉唱し、同窓生の絆も深まったところで無事終了。実行委員に安堵の笑みがこぼれる...感無量である。

絆の 릴레이

さあ、士気は高まった！今こそ、同窓生の力を結集し、母校の更なる発展と在校生の活躍を祈念し、追い風を起こそう。そして、友情の団扇が、更に100年、200年と受け継がれていきますように...

毎春、きれいな花を咲かせ、新入生をはじめ本校を訪れる方々を迎えていた南棟校舎南側の桜の木2本は、2015年8月の台風15号により相次いで倒れてしまいました。その年の同窓会を担当した昭和54年卒業生は、寂しくなった校庭に「鹿高生の成長と共に、桜の木も大きく育ちますように...」との願いを込めて「ソメイヨシノ」2本を植えました。

昭和54年卒業生が校庭に桜の木を植樹



2016年3月5日、有志7人が集まり、自分たちの手で植樹しました。

その年の同窓会を担当した昭和54年卒業生は、寂しくなった校庭に「鹿高生の成長と共に、桜の木も大きく育ちますように...」との願いを込めて「ソメイヨシノ」2本を植えました。

感謝

平成28年度鹿本高校同窓会担当学年実行委員長 池田 功

(12期生 昭和55年鹿本高校卒)

平成二十八年度の同窓会は、多くの同窓生の皆様のご支援・ご協力により盛会のうちを終えることができました。熊本地震の被害などで同窓生の皆様のご出席を心配しておりましたが、県下はもとより県外からもご出席いただきました。幹事学年として、出席者数二百人を超えるという目標を達成でき安心いたしました。

多くの同窓生の皆様から、「楽しみにしていました。懐かしかったです。」等、温かい声をかけていただきました。改めて幹事学年でよかったと感じた瞬間でもありました。一月から実行委員会を立ち上げ、会の準備のために、何度となく鹿本高校のセミナーハウスに集まりました。毎回、十五〜二十人程が集まってくれました。

委員の中には、熊本地震で被害を受け、家の後片付けなどと並行して取り組んでくれた委員もいました。実行委員会の回数が増える度に、そして同窓会が近づくにつれ、委員の熱気が高まり、連帯感が深まっていききました。多くの同窓生に喜んでもらいたいという思いやお世話になった鹿本高校への感謝の気持ちが伝わってきました。確かに、「鹿本愛」が深まっているのを感じました。また、実行委員会の活動を通して、よき同級生に恵まれていることに改めて気づくことができました。

同窓会の幹事をさせていただいたことで同窓会のよさや同級生のよさ、そして「鹿本愛」を改めて感じさせていただきました。ありがとうございました。



友情の団扇を次年度代表に手渡す阪梨実行委員長



池田委員長から栗原委員長へ

平成二十八年度

鹿本高等学校

「同窓会賞」受賞者

「学術優秀賞」

荒木雅則さん
穏やかで落ち着いた生活態度で、誰に対しても公平に接し、周囲からの信頼が厚い。情緒面が安定し、飾らない性格で、広く良好な人間関係を構築した。

授業や課外に真摯に取り組み優秀な成績を収めて、学習に向かう雰囲気づくりに大きく貢献した。卓越した理解力・思考力を持ち、予習復習に全力で取り組み、学習内容の理解を深化させた。3年間を通して常に学年首位の成績であった。生徒会役員としても学校行事の成功に貢献した。3年間皆勤で登校した。

「体育栄誉賞」

佐藤友社さん
飾らず温厚な性格で、誰に対しても分け隔てなく思いやりをもって接した。目標に向かってひたむきに学習に取り組み姿勢は、級友を感化しクラス全体にやる気を漲らせた。剣道部に所属し、主将として部員を牽引し、優秀な成績を取った。3年間無欠席で登校した。

- 平成27年度全国高校剣道選抜大会 県予選会及び演技の部 優勝
- 第63回九州高等学校剣道大会 男子個人3位
- 第36回九州ブロック国民体育大会 少年男子優勝 次鋒
- 第71回いわて希望郷国民体育大会 少年男子準優勝 中堅

「文化栄誉賞」

吉良紀香さん
ギター・マンドリン部に所属し基本の練習に精力的に取り組んだ。2年・3年次には副部長として懸命に練習に打ち込み、後輩を鼓舞した。全国総文祭にむけ部員の気持ちを高め、丸となって大会に臨んだ。大会では最高のパフォーマンスを実現させた。

- 第39回熊本県高等学校器楽コンクール ギター・マンドリン部門 金賞
- 第40回熊本県高等学校器楽コンクール 合奏及び独奏の部 金賞
- 第40回全国高等学校総合文化祭県代表選考会 器楽部門 金賞
- 第40回全国高等学校総合文化祭 器楽・管弦楽部門 文化連盟賞

第6回 鹿高博物館と熊本県文化財功学者表彰

『第6回鹿高博物館』 鹿本高校同窓会と共催

2016(平成28)年9月26日・28日・30日他

「県立鹿本中学校・山鹿高女の戦争と青春」のテーマで同窓会館で初めての展示を行った。創立120周年事業も見据え、今年度は戦時下の熊本県立鹿本中学校・山鹿高等女学校(以下鹿中・高女と略、両校とも本校の前身)を中心テーマに位置づけた。同窓会館の資料整理と平行して、中満重明氏(1945年鹿中卒)日記・吉岡大一郎大尉(鹿中1921年卒、山鹿高女教員時応召)資料・小松(旧姓星子)喜美代氏(1947年山鹿高女卒)への聞き取り、野満哲人氏(1944年鹿中卒)資料の解説を中心に展示骨子を固めた。

お知らせ 同窓生の皆様と祝う 創立120周年・統合50年記念事業

本校の沿革は二つの大きな流れに源を発しています。一つは1896(明治29)年に創立された熊本県尋常中学校、次々山鹿分館から全国にその名を轟かせた。県北の雄、熊本県立鹿本中学校(略称 鹿中)への流れです。もう一つは1912(明治45)年創立の熊本県鹿本郡山鹿町外十七ヶ町村学校組合立山鹿実科高等女学校から、熊本県立山鹿高等女学校(略称 山鹿高女)への流れです。

本校の沿革は二つの大きな流れに源を発しています。一つは1896(明治29)年に創立された熊本県尋常中学校、次々山鹿分館から全国にその名を轟かせた。県北の雄、熊本県立鹿本中学校(略称 鹿中)への流れです。もう一つは1912(明治45)年創立の熊本県鹿本郡山鹿町外十七ヶ町村学校組合立山鹿実科高等女学校から、熊本県立山鹿高等女学校(略称 山鹿高女)への流れです。地域の憧れであった両校は戦後の新しい学校制度の下、1948(昭和23)年に鹿中は熊本県立鹿本高等学校、山鹿高女は熊本県立山鹿高等学校として再

長らく廃屋状態だった同館を3年かけて掃除し、何とか展示にこぎつけた。特に猛暑の中、黙々と作業に励む生徒たちの存在なくしては語れない展示となった。

予算の関係上、広報はほとんどできなかったが、マスコミの方の報道等により、開館するや中嶋憲正同窓会長を初めOBが多数観覧に来られ、大いに賑わった。93歳の女性は高等女学校の青春を呼び覚ましたかのように、「楽しい。こんな展示が見たかった。」と娘時代に戻って、青春時代を語られた。実際には戦時下の厳しい状況は楽しいでは済まないことも多かっただろうが、青春の一コマを切り取った展示に胸躍らせておられるお姿が印象的であった。鹿中・山鹿高・旧鹿本高・統合後の鹿本高OBの来校も相次ぎ、地域に愛されてきた

鹿本高校考古学部顧問 高木 康博

学校の歴史に思いをはせた。その他オーストラリアから大西正幸氏(総合地球環境学研究所客員教授)、深野修司氏(南日本新聞編集委員)、古江研也氏(熊本工業専門学校教授)、井上佳子氏(RKKチーフディレクター)など各地域・各分野でも御活躍の方々も来館された。

熊本県文化財功学者表彰

2016年11月23日、鹿本高校考古学部は熊本県文化財功学者表彰を熊本県庁地下大会議室で受けた。それは山鹿高校や旧鹿本高校、統合後の鹿本高校による長年の文化財発掘調査・文化財パトロールをおこなったこと、多くの人材を輩出したこと、近年の戦争体験の聞き取りと展示活動(鹿高博物館)による。伝統あ

るこの賞を高校の部活動が受賞することは熊本県の戦後史においても初めてのことである。蒲島郁夫知事・五十旗頭真熊本県文化財保護協会会長が臨席される中、宮尾千加子県教育長から渡された表彰状の重みを感じているところである。

また上記の表彰を受けて、考古学部卒業生からなるチブサン会主催で、2017年3月26日原口長之先生墓前祭・熊本県文化財功学者表彰祝賀会が開催された。(原口先生は山鹿高校で考古学部を創部された初代顧問、熊本県立装飾古墳館初代館長、熊本県近代文化功学者)



熊本県庁での表彰

きませんので、公共交通機関で御来校ください。

- 創立120周年・統合50年記念体育祭
 - 期日 平成29年5月14日(日)
 - 場所 鹿本高校グラウンド
- 創立120周年・統合50年記念文化祭
 - 期日 平成29年9月30日(土)
 - 場所 (一般開放は午後から) 鹿本高校
- 創立120周年・統合50年記念式典
 - 日時 平成29年10月27日(金)
 - 場所 午前10時開会 鹿本高校体育館
- 創立120周年・統合50年記念講演会
 - 日時 平成29年10月27日(金)
 - 場所 午前11時20分開会 蒲島郁夫氏
- 創立120周年・統合50年記念祝賀会
 - 日時 平成29年10月27日(金)
 - 場所 午後6時開会 山鹿ニューグランドホテル

- 創立120周年・統合50年記念鹿高チャレンジ大会
 - 期日 平成29年12月16日(土)予定
 - 場所 鹿本高校及び近郊
 - 内容 長距離走(20km)大会
- 創立120周年・統合50年記念誌発行
 - 平成30年2月末発行予定
 - 場所 鹿本高校歴史資料館開館

編集雑感

創立百二十周年、統合五十年を迎えるにあたり、統合一年目の当時の様子が昨日のこのように浮かんできます。多くの先輩方が築いてこられた輝かしい歴史、そして、多くの後輩達が受け継ぎ育ててくれた歴史、現在の鹿本高校に多くの宝として残されています。新しい時代のスタートとして同窓会もお手伝いをしてまいります。

事務局長 宮川政士

校名	学科等	男	女	合計
旧鹿本高等学校		7,986	1,827	9,813
尋常中学済々黌城北分黌		107	0	107
鹿本中学校		4,435	0	4,435
鹿本高等学校	普通科	2,907	1,760	4,667
	農業科	239	17	256
	定時制	25	50	75
	電気科	131	0	131
	機械科	142	0	142
計		3,444	1,827	5,271

校名	学科等	男	女	合計
山鹿高等学校		3,606	8,749	12,355
山鹿高等女学校		0	4,201	4,201
山鹿高等女学校	(実科)	0	127	127
	(併設中学校)	0	594	594
山鹿高等学校	普通科	3,271	3,279	6,550
	工業科	45	0	45
	商業科	290	548	838
	計	3,606	3,827	7,433
鹿本高等学校		10,389	9,143	19,532
鹿本高等学校	普通科	10,389	9,143	19,532
総計		21,981	19,719	41,700

鹿本高校同窓会員数 (平成29年3月31日現在)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
国公立大学	87	77	56	72	54	60
私立大学	230	241	266	318	331	289
短期大学	20	13	24	13	13	18
看護学校	12	19	5	15	15	6
専門学校	42	53	49	59	53	50
公務員	9	9	14	10	14	12
一般企業	6	5	2	3	3	3

近年の進路状況